



シラバス参照

タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4601S		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	勝股 秀通		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 2		
講義室	1313	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 1－E 〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 D P 3－G 〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が所属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4－F 〔探求力・課題解決力〕 問いを設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 6－K 〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 D P 7－L 〔協働力・牽引力〕 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 D P 8－M 〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E 1 学識と専門技能（15%） F 1 探求と論拠（20%） F 2 課題解決（10%） G 1 状況把握（10%） K 1 ライティング・コミュニケーション（10%） K 2 オーラル・コミュニケーション（10%） L 1 チームワーク（15%） M 1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	担当教員は長年、全国紙の新聞記者として外交・防衛など安全保障問題を専門に取材し、報道に携わってきたほか、様々な事件や事故、地震や噴火など自然災害の現場取材も豊富で、この特殊研究ではそうした過去に取材などに基づいた危機の場面や状況について詳しい内容を提示します。 特に7回目以降のグループ研究の授業やその発表においては、担当教員の実務経験を生かして、新聞社が編集各部の垣根を越えて「班」を編成し、企画や特集、調査報道などに取り組む手法を取り入れます。危機管理に関して社会的事象となっているテーマについて、ゼミ生それぞれが意見を出し合い、問題点や課題などを洗い出しながら大きな一つのテーマを軸に、数名で共同研究できる小テーマを選定します。その際に担当教員は、現場の経験を踏まえたアドバイスを送り、学生と教員との相互の活発な議論を通じて班による研究をバックアップします。危機管理は現場感覚が必要な新しい領域であり、実際に多くの危機の場面を取材した経験を学生にはフィードバックできると思います。		

成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期～4 定着期	
科目概要・キーワード	危機管理に関する専門的な問題解決のために必要な知識やスキルを身に付けるための指導を行います。学生個人のキャリア形成にもつながるよう、学生自身が危機管理に関する具体的な業務、資格などに関する専門的な研究を行い、実務教員が中心となり実践的な指導を行います。担当する実務教員が、自らの実務経験に基づいたテーマの科目を設定し、学生が自らのキャリア形成に役立つ科目を選択します。危機管理に関する知識や教養を養うだけでなく、危機管理において必須となるコーディネート、マネジメントに必要な調整能力を身に付けることを目標とします。ここでは、危機管理に関する実務についての知識を習得するための基礎的な指導を行います。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード：情報収集（先を読む）、何が危機（リスク）となるのか、危機の現場を知る	
授業の趣旨	■副題 社会の動きに目を凝らし、耳を澄ませ、そして、もっと敏感になろう ■授業の目的 個人で取り組む研究テーマ、グループで取り組む研究テーマを考えるためにも、常に社会事象に目を凝らし、耳を傾けながら、顕在化している危機や危機の種（芽）を探すことから始めます。そのためには新聞報道などを通じて問題点を議論することを繰り返しながら、自分が取り組んでみたいと思うテーマを設定することを目的とします。 ■授業のポイント 新型コロナウイルスの感染拡大という100年に1度という危機（有事）に直面している状況において、この問題としっかり向き合う必要があります。単に感染症対策という狭い範囲ではなく、情報発信や複合災害の視点、国際協調などの視点も必要となっています。それらを踏まえ、2021、22年度にはコロナ災害への対応の中で浮かび上がってきたさまざまな危機管理上の課題に焦点を当てます。3年次の特殊研究1＆2では、主に新聞報道を教材にしながら、対策と課題、教訓について繰り返し議論します。	
総合到達目標	■自分たちを取り巻く社会は今、どのような危機に直面し、また直面する恐れがあるのかについて気づき、関心を深めようとすることができる。 ・災害やパブリック、グローバルといった領域にとどまらず、複合的に重なり合った危機など、危機の幅広さについて気づくことができる。 ■グループでの議論を通じてテーマを絞り込み、1つのテーマを協働して研究に取り組み、発表などの場を通じて成果物として完成させることができる。 ・関心の高いテーマの中からいくつかのテーマを抽出し、議論や調査の過程で得られるさまざまな気づきを経て、研究を深めていくことができる。	
成績評価方法	■授業参加度（50%） （評価の観点） 課題などについてあらかじめ情報を収集するなどして、演習で議論するための材料を提供することができているかについて評価します。 （フィードバックの方法） 授業中に適宜指導します。 ■グループ発表への貢献（50%） （評価の観点） 文化祭での研究発表、グループ討議に積極的に参加し、率先して協働しているかを評価します。 （フィードバックの方法） 授業中に適宜指導します。	
履修条件	新聞やテレビなどのメディアに関心があり、情報発信関係の職種への就職を希望する学生の履修が望ましい。	
履修上の注意点	つねに「なぜ」「どうして」を考えながら、個人研究や共同研究を実践する演習のため、議論には積極的に参加し、ゼミは休まないこと。	
授業内容	回	内容
		①授業テーマ トータルガイダンス ②授業概要 これからの学び、研究の流れについて説明するとともに、受講する研究生が履修期間中に、自らが研究してみたい、取り組んでみたいテーマを見つけ出すことを目標とした演習の位置付けについて説明します。（E1, F1） 1 ③予習（120分） これまでの授業を通じて関心を持っているテーマについて、発表できるようにしておく。 ④復習（120分） 春休み期間中に与えられた課題について、ガイダンスの内容を踏まえて整理しておくこと。

2	①授業テーマ 研究生の発表① ②授業概要 2年間の学びを通して、研究生が関心を持っているテーマ（複数可）について、問題の所在とその理由について意見発表する。担当教員は実務経験を踏まえて、学生の視野を広げるために、最近の新聞報道を示しながら、国家・社会・企業にとってどのような事象や問題が「危機」となるのかについて説明します。（K 2、E 1、F 1、F 2） ③予習（120分） 新聞をよく読み、社会の動きに敏感になること。 ④復習（120分） 他の研究生の発表内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながら、発表者は自分の関心テーマについてブラッシュアップする。未発表者は発表に備える。
3	①授業テーマ 研究生の発表② ②授業概要 2年間の学びを通して、研究生が関心を持っているテーマ（複数可）について、問題の所在とその理由について意見発表する。前回に引き続いて、担当教員は実務経験を踏まえて、学生の視野を広げるために、最近の新聞報道を示しながら、国家・社会・企業にとってどのような事象や問題が「危機」となるのかについて説明します。（K 2、E 1、F 1、F 2） ③予習（120分） 新聞をよく読み、社会の動きに敏感になること。 ④復習（120分） 他の研究生の発表内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながら、発表者は自分の関心テーマについてブラッシュアップする。未発表者は発表に備える。
4	①授業テーマ 研究生の発表③ ②授業概要 2年間の学びを通して、研究生が関心を持っているテーマ（複数可）について、問題の所在とその理由について意見発表する。前回に引き続き、担当教員は実務経験を踏まえて、学生の視野を広げるために、最近の新聞報道を示しながら、国家・社会・企業にとってどのような事象や問題が「危機」となるのかについて説明します。これまでに発表された研究生の意見について、グループディスカッションを実施します。（K 2、E 1、F 1、F 2、L 1） ③予習（120分） 新聞をよく読み、社会の動きに敏感になること。 ④復習（120分） 他の研究生の発表内容や指導教員のアドバイスなどを参考にしながら、発表者は自分の関心テーマについてブラッシュアップする。未発表者は発表に備える。
5	①授業テーマ 研究生によるビブリオバトル①（発表に慣れる） ②授業概要 休暇中から今に至るまでに課題として与えられていた書籍について、各研究生は書籍を選んだ理由、読んだ感想や意見を発表する。発表した内容について、担当教員はもとより聴講する研究生は積極的に意見や質問を繰り返す。（E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1） ③予習（120分） 研究生は発表内容について1200字のレポートにまとめておく。 ④復習（120分） 発表した研究生は、担当教員の指導や他の研究生の意見を参考にしながら1200字のレポートを修正して提出できるようにしておく。未発表者は発表に備えて準備しておく。
6	①授業テーマ 研究生によるビブリオバトル②（発表に慣れる） ②授業概要 休暇中から今に至るまでに課題として与えられていた書籍について、各研究生は書籍を選んだ理由、読んだ感想や意見を発表する。発表した内容について、担当教員はもとより聴講する研究生は積極的に意見や質問を繰り返す。（E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1） ③予習（120分） 研究生は発表内容について1200字のレポートにまとめておく。 ④復習（120分） 発表した研究生は、担当教員の指導や他の研究生の意見を参考にしながら1200字のレポートを修正して提出できるようにしておく。未発表者は発表に備えて準備しておく。
7	①授業テーマ グループ研究の準備① ②授業概要 合宿で実施する研究発表に向け、研究生の役割分担を決めるとともに、発表するテーマについて議論する。担当教員は実務経験を踏まえて、最近の新聞報道に基づき、研究

	生が取り組むべきテーマについて幅広く提示します。(E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1) ③予習 (120分) 新聞をよく読んで社会の動きに関心を深め、議論できるようにしておく。 ④復習 (120分) 演習での議論を振り返りながら、三茶祭で取り上げるテーマについて、自分の意見を整理しておく。
8	①授業テーマ グループ研究の準備② ②授業概要 合宿で実施する研究発表に向け、前回に引き続き、研究生の役割分担に基づき、幹事役が主導しながら発表するテーマについて議論する。担当教員は実務経験を踏まえて、最近の新聞報道に基づき、研究生が取り組むべきテーマについて幅広く提示します。(E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1) ③予習 (120分) 新聞をよく読んで社会の動きに関心を深め、議論できるようにしておく。 ④復習 (120分) 演習での議論を振り返りながら、三茶祭で取り上げるテーマについて、自分の意見を整理しておく。
9	①授業テーマ グループ研究の準備③ ②授業概要 合宿で実施する研究発表に向け、これまでの議論をまとめ、発表テーマと役割分担を決める。担当教員は実務経験を踏まえて、発表テーマについて、最近の新聞報道に基づき、現状や問題点などを提示します。(E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1) ③予習 (120分) 新聞をよく読んで社会の動きに関心を深め、議論できるようにしておく。 ④復習 (120分) 演習での議論を振り返りながら、三茶祭で取り上げるテーマについて、自分の役割について整理する。
10	①授業テーマ 研究テーマの発表① ②授業概要 研究生は現時点で研究しようと考えているテーマについて、テーマの内容と、関心の所在についてプレゼンテーションする。発表については全員で内容について意見を出し合う。担当教員は実務経験を踏まえて、最近の新聞報道などに基づき、研究生が取り組むべきテーマが見つけられるように幅広く提示します。(E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1) ③予習 (120分) 自分の研究テーマについてプレゼンテーションできるように準備しておく。 ④復習 (120分) 他の研究生のプレゼンテーション及びディスカッションも含め、議論を自分の研究内容に反映する。
11	①授業テーマ 研究テーマの発表② ②授業概要 研究生は現時点で研究しようと考えているテーマについて、テーマの内容と、関心の所在についてプレゼンテーションする。発表については全員で内容について意見を出し合う。担当教員は実務経験を踏まえて、最近の新聞報道などに基づき、研究生が取り組むべきテーマが見つけられるように幅広く提示します。(E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1) ③予習 (120分) 自分の研究テーマについてプレゼンテーションできるように準備しておく。 ④復習 (120分) 他の研究生のプレゼンテーション及びディスカッションも含め、議論を自分の研究内容に反映する。
12	①授業テーマ 研究テーマの発表③ ②授業概要 研究生は現時点で研究しようと考えているテーマについて、テーマの内容と、関心の所在についてプレゼンテーションする。発表については全員で内容について意見を出し合う。担当教員は実務経験を踏まえて、最近の新聞報道などに基づき、研究生が取り組むべきテーマが見つけられるように幅広く提示します。(E 1、F 1、F 2、G 1、K 2、L 1) ③予習 (120分) 自分の研究テーマについてプレゼンテーションできるように準備しておく。 ④復習 (120分)

	他の研究生のプレゼンテーション及びディスカッションも含め、議論を自分の研究内容に反映する。 13 ①授業テーマ グループ研究発表の準備① ②授業概要 発表するテーマについて、各研究生は新聞報道や文献等によって調べた内容について途中経過を発表する。（K 1, K 2, E 1, F 1, F 2, G 1, L 1, M 1）、 ③予習（120分） 自分の研究テーマについて資料や文献等を調べると同時に、三茶祭で担当するテーマ分担について発表できるように準備する。 ④復習（120分） 他の研究生のプレゼンテーション及びディスカッションも含め、議論を自分の研究内容に反映する。 14 ①授業テーマ グループ研究発表の準備② ②授業概要 発表するテーマについて、各研究生は新聞報道や文献等によって調べた内容について途中経過を発表する。（K 1, K 2, E 1, F 1, F 2, G 1, L 1, M 1） ③予習（120分） 自分の研究テーマについて資料や文献等を調べると同時に、三茶祭で担当するテーマ分担について発表できるように準備する。 ④復習（120分） 他の研究生のプレゼンテーション及びディスカッションも含め、議論を自分の研究内容に反映する。 15 ①授業テーマ 特殊研究 1 のまとめ ②授業概要 14回の授業で議論したことを総括し、各研究生は達成点と反省点を振り返り、夏期休暇中の課題について発表する。担当教員は実務経験を踏まえて、研究生の研究テーマについてブラッシュアップのためのアドバイスなどを行います。（K 1, K 2, E 1, F 1, F 2, G 1, L 1, M 1） ③予習（120分） 自分の研究について達成点と反省点を総括しながら発表できるように準備する。 ④復習（120分） 授業内容を振り返り、自分の研究テーマを再検討しながら夏合宿に備える。
関連科目	「危機管理特殊研究 2 RMGT4612」（3 年次後期配当） 「企業広報論 RMGT3578」（3 年次前期配当） 「ジャーナリズム論 RMGT3575S」（2、3 年次後期配当） 「国民保護 RMGT3522」（2、3、4 年次後期配当）
教科書	時にありません。主な教材として新聞を使用します。
参考書・参考URL	研究生には適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。その他の時間はメール等で適宜連絡に応じます。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント20%：パブリックセキュリティ20%：グローバルセキュリティ20%：情報セキュリティ40% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学70%：法学30%

